

改めて、卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

今こうして、目の前の君たちを見ていると、出会った頃より、心も体も成長し、将来をまっすぐに見つめる瞳に力強さを感じます。

私が君たちと、一緒に過ごしたのは、わずか1年でした。しかし、この1年を振り返ると、広陵の顔として、活躍する君たちの姿と、素敵な笑顔が、思い出されます。

そして、常にそこには「知恵と勇気と優しさ」があふれていました。

コロナ禍の中、バスを8台に増便するなど様々な対策を講じながら、なんとか行うことができた修学旅行。いろいろな場面で君たちらしい姿を見ることができました。

お世話になったホテルのお部屋。布団の上に、きれいに折りたたまれたバスタオルが置かれ、そこに貼られた付箋には「ありがとうございました。楽しかったです」と書かれていました。

食事の時に、はしゃぎすぎて円卓を回し、怒られた人たち。後日、どの班よりもきれいに後片付けをしていました。

自主研修では、どの班も時間に遅れることなくホテルに戻ってきたこと、遅れそうな班は、「遅れるかもしれませんが」と事前に連絡を入れていました。

「修学旅行、とても楽しかったです。」この言葉に、私たちは心から実施してよかったと思ったものです。

中連体育大会、君たちは輝いていました。最後の試合が終わったとき、その表情には、試合に負けた悔しさ、大好きな部活からの引退、一緒に戦った仲間との別れ、そして、やりきったという充実感にあふれていました。

最後の試合で2塁打を打った背番号6番。彼は最後まで仲間を責めませんでした。

決勝戦で0-0、PK戦の末やぶれ、試合後一人ピッチで涙した背番号10番。彼は中連を迎える前まで、一人黙々と自主練をしていたそうです。

団体戦の決勝で、緊張のあまり手足が震えながらも優勝を勝ち取った皆さん。あのときの緊張と感動を忘れないでください。

そして、吹奏楽部の皆さん、君たちはコロナのため、なかなか活動ができませんでした。練習が再開し、コンクール前、最後のリハーサルで聞かせていただいたあの曲。

水の流れ、鳥のさえずりなど雄大な自然を感じさせるものでした。

部活動は、試合やコンクールの結果が「どうだったか」ではなく、それまで「どう過ごしてきたか」ということが君たちの力になります。

2年ぶりに行われた広陵祭。短かった準備期間の中でも、各クラスが最優秀賞を目指して練習を重ね、素晴らしいハーモニーを奏でました。「さすが広陵の3年生」すべての先生方は口をそろえて言いました。(木谷ちゃんの指揮はかっこよかった！)

また、一人ひとりがそれぞれの役割を果たし、見ている人を感動させたステージ発表、見事でした。最後に披露した全員での踊りは、すごかった。特に小さな頃から踊りを習っている女の子の踊りは、キレキレでした。

最後に校長室。ここから君たちとの関係が始まったような気がします。

本当にいろいろな人がやってきました。そしていつも笑顔でいっぱいでした。

校長室の床に転がっていた人もいました。悩みごとや将来のことをお話したり、野球やテニス、サッカー、卓球、バスケットなどいろいろなお話をすることができました。

「校長先生、広陵のジャージを変えることはできないんですか?」「どうして?」「広陵中学校のイメージを変えたいんです!」というお話から数々の課題を解決し、後輩たちのために頑張った前期生徒会本部役員。これも始まりは、校長室からでした。

明日からは君たちがいない校長室となります。

今、君たちは、9年間の義務教育を終え、自分の意思でそれぞれの道を歩き始めます。君たち自身が決めた道です。

そんな君たちに、最後にひとつだけ、アドバイス。

「 Keep thinking! 」 「 考え続けてください! 」

今君たちが直面している世の中は、急速なAI化や新型コロナの問題など、先が見通せない状態になっています。しかし、逆に言えば、未来はいくらでも変えられるということです。

ならば、君たちは未来を切り開くための力はもうすでに持っています。それが「知恵と勇気と優しさ」です。あとはそれを発揮するだけ。

そのためには、「考え続ける」ことが必要です。

さまざまな問題や課題に直面したとき、「今、この状況を解決するためには、どうしたらいいのか?」「この方法でいいのか?」「もっといい方法がないだろうか?」と考え続けることです。

つまずいたときには、休んでもいい、泣いてもいい、人に頼ってもいいと思います。しかし、そこから立ち直るには、考え続けることが必要です。

人の役に立つ仕事がしたい、ピアノの先生、美容師、トレーラーの運転手、キャビンアテンダント、人が生きていく上で必要なまちづくりをしたい、北海道の自然を守りたい、保育士、小児科のお医者さん、英語に関わる仕事がしたい、お年寄りだけでなくすべての人にとって安心・安全でおいしい食品を開発したい、環境問題を解決するための活動をしたい、税理士、栄養管理士、介護福祉士、助産師、看護師、そして学校の先生になりたい。

これらは、どれも、君たちが私に語ってくれた、将来の夢や希望です。

どうか君たちの夢の実現のために、自分の頭で考え続けてください。

君たちらしい、すばらしい人生を送ることを期待しています。